ASUS Tablet

ユーザーマニュアル

J9541
2014年7月
初版

もくじ

このマニュアルの表記について 9
安全に使用していただくために 10
ガイドライン 10
廃棄・リサイクルについて 11

1 使用する前に

部品と機能 14
メモリーカードの取り付け 15
メモリーカードの取り外し 17
本機の充電 19
本機の電源をオン/オフにする 22

2 ホーム画面

ホーム画面の機能 26
ホーム画面 26
ホーム画面の管理 28
クイック設定 32
キーボードの設定 36
音声検索 37
ロックスクリーン 40
コンピューターへの接続 41
ノートパソコンへの接続 41
デスクトップPCへの接続 42

3 連絡先の管理

連絡先を管理する 44
連絡先の追加 44
連絡先をインポートする 45
連絡先のエクスポート 46

4 Omletチャットを使用する

Omletチャット 48
Omletチャットへの登録 48
Omletチャットの使用 51
マルチメディアメッセージの送信 52

5 メール機能

メール 54
メールアカウントの作成 54
メールアカウントの追加 55
Gmail 56
Gmailアカウントの作成 56

6 画像・動画の撮影

カメラアプリの起動 60
ロックスクリーンから 60
ホーム画面から 60
すべてのアプリ画面から 60
音量キーを使用して 60
カメラを初めて使用する 61
チュートリアル 61
撮影場所 61
カメラのホーム画面 62
写真の設定 63
動画の設定 65
カメラ詳細機能 66
タイムシフト撮影 66
HDR 67
パノラマ 67
夜景 68

自分撮り....69
スマートリムーブ....70
オールスマイル....70
美人効果....71
GIFアニメーション....71
単焦点....72
低速度撮影....72
Party Link....73
写真の共有....73
写真の受信....75

7 ギャラリー

ギャラリーの使用....78
メイン画面....78
他のソースの場所からファイルを参照する....79
ギャラリーのファイルを共有する....80
ギャラリーからファイルを削除....80
画像の編集....81
サムネイルや画像をズームイン/アウト....81

8 仕事は楽しく、遊びはもっと楽しく

Supernote....84
ノートの作成....86
クラウドでのノートの共有....86
クラウドでのメモの共有....86
カレンダー....87
イベントの作成....87
カレンダーへのアカウントの追加....88
アカウントからのイベントの作成....88

What's Next **89**
やることリスト **90**
タスクの作成と参照 90
天候 **91**
ホーム画面 92
時計 **93**
アプリの起動 93
世界時計 94
アラームクロック 95
ストップウォッチ 96
タイマー 97
ファイルマネージャー **99**
内部ストレージへのアクセス 99
外付けストレージへのアクセス 100
クラウドストレージへのアクセス 101

9 インターネット

ブラウザー **104**
ロックスクリーンからのブラウザーの起動 104
ホーム画面からのブラウザーの起動 104
ページの共有 104

10 エンターテイメントセンターとして

ヘッドセットの使用 **106**
オーディオジャックへの接続 106
AudioWizard **107**
AudioWizardの使用 107
Play ゲーム **108**
Play ゲームの使用 108

音楽 **109**
Musicの起動 109
音楽の再生 109
SDカードからの音楽再生 109
クラウド上の音楽の再生 110
音声レコーダ **111**
音声レコーダの起動 111
音声レコーダのホーム画面 111

11 Zenのお手入れ

本機を最新状態に保つ **114**
システム更新 114
ストレージ **114**
バックアップとリセット **115**
セキュリティ **116**
スクリーンのロック解除 116

12 Wi-Fi/Bluetooth等への接続

Wi-Fi **126**
Wi-Fiを有効にする 126
Wi-Fi ネットワークへの接続 126
Wi-Fi の無効化 127
Bluetooth **127**
Bluetoothの有効化 127
本機とBluetoothデバイスのペアリング 128
本機とBluetoothデバイスのペアリングの解除 128
PlayTo **129**
クラウド **130**
ASUS WebStorage 130

13 アプリ

アプリの切り替え **132**
アプリのロック **132**
アプリのダウンロード **133**

14 その他の便利な機能

省電力設定 **136**
省電力設定のセットアップ 136
省電力設定のカスタマイズ 137
ASUS Splendid **138**

15 付録

ご注意 **140**

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

安全に使用していただくために

ガイドライン

交通安全を最優先してください。乗り物の運転中は本機を使用しないことを強くお勧めします。

本機は0°～35°の周囲温度でご使用ください。

モバイル機器の使用が禁止されている制限区域内では本機の電源を切ってください。医療機器や燃料が近くにある場所、建設現場、爆破作業が行われている場所、病院や空港、映画館など、電子機器の使用が制限されている場所では、その規則や規制などに従ってください。

本機専用のACアダプターとケーブルを使用してください。入力定格は本機の底部に記載があります。電源アダプターが対応していることを確認してください。

損傷のある電源コードや周辺機器を使用しないでください。

本機を乾いた状態で使用・保管してください。液体・雨・湿気を避けてください。

本機をX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。

本機の画面はガラス製です。ガラスが割れてしまった場合は、使用を中止し割れたガラス部分に触れないでください。修理が必要な場合は、ASUSコールセンターにご依頼ください。

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなることがあります。ご注意ください。

本機のお手入れの際は、電源を切り電源アダプターを取り外してください。本機の画面のお手入れの際は、清潔なセルローススポンジやセーム布のみを使用してください。

修理が必要な場合は、ASUSコールセンターにご依頼ください。

廃棄・リサイクルについて

バッテリーは製造元が指定する物をご使用ください。それ以外の物を使用した場合、爆発や本機の故障の原因となります。バッテリー廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

本機を通常ゴミとして廃棄しないでください。本機はリサイクル可能な設計がされています。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

本機のバッテリーを通常ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は地域の条例等に従ってください。

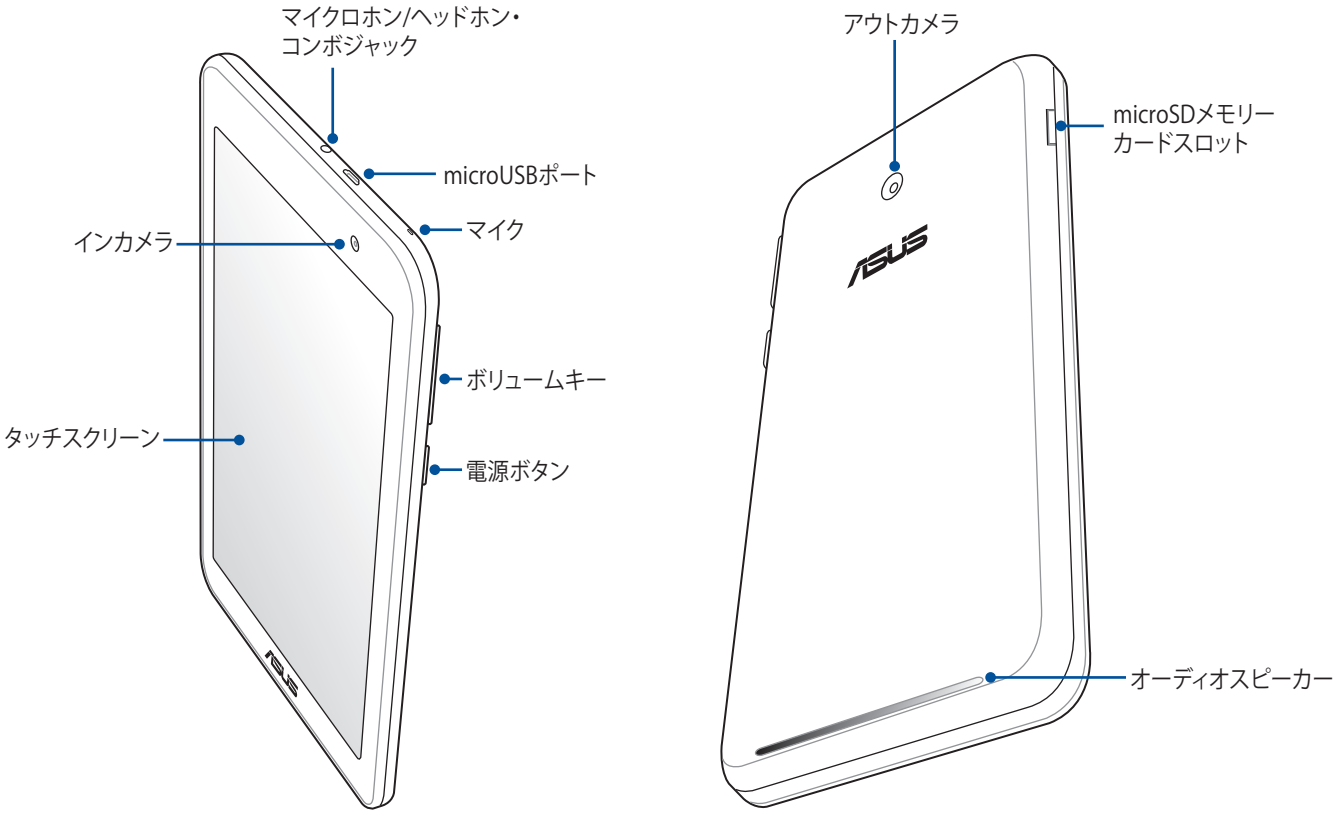
本機を火中に投じないでください。回路をショートさせないでください。本機を分解しないでください。

CHAPTER 1

使用する前に

部品と機能

操作は簡単です。



重要: 本機、特にタッチスクリーンは常に乾いた状態に保ってください。水などの液体が付着すると、タッチスクリーンの故障の原因となる可能性があります。

メモリーカードの取り付け

本機はmicroSD™、microSDHC™、microSDXC™ メモリーカードをサポートしています。最大容量は64GBです。

注: 特定のメモリーカードは、本機と互換性がない場合があります。データの消失、本機やメモリーカードの不具合を防ぐため、互換性のあるメモリーカードのみをご使用ください。

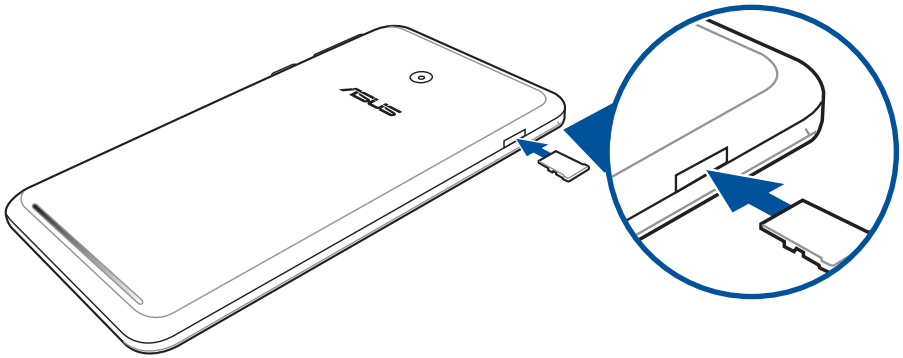
警告: メモリーカードの取り扱いには、十分な注意が必要です。ASUSはメモリーカードに生じたいかなるデータの損失や損害についての責任を負いません。

メモリーカードを取り付ける

1. 図のように本機を置きます。

2. 金属部分が上を向くように、カードをメモリーカードスロットに挿入します。

3. 所定の位置にしっかり収まるまで、スロットにメモリーカードを挿入します。



注: 初期化済みのカードを取り付けた後、アプリ「**ファイルマネージャー**」を開き、「**MicroSD**」からカード内のコンテンツにアクセスすることができます。

メモリーカードの取り外し

警告:

- メモリーカードの取り扱いには、十分な注意が必要です。ASUSはメモリーカードに生じたいかなるデータの損失や損害についての責任を負いません。
- メモリーカードの取り外しの際は、適切な手順で安全に取り外してください。「**ホーム**」→「**すべてのアプリ**」→「**設定**」→「**ストレージ**」→「**外付けストレージのアンマウント**」の順に取り外します。

手順

1. 図のように本機を置きます。

2. メモリーカードを押します。

3. メモリーカードを引き出します。

本機の充電

本機は部分的に充電された状態で出荷されていますが、初めて使用する際は、完全に充電する必要があります。本機を充電する前に、次の重要な注意事項および注意をお読みください。

重要:

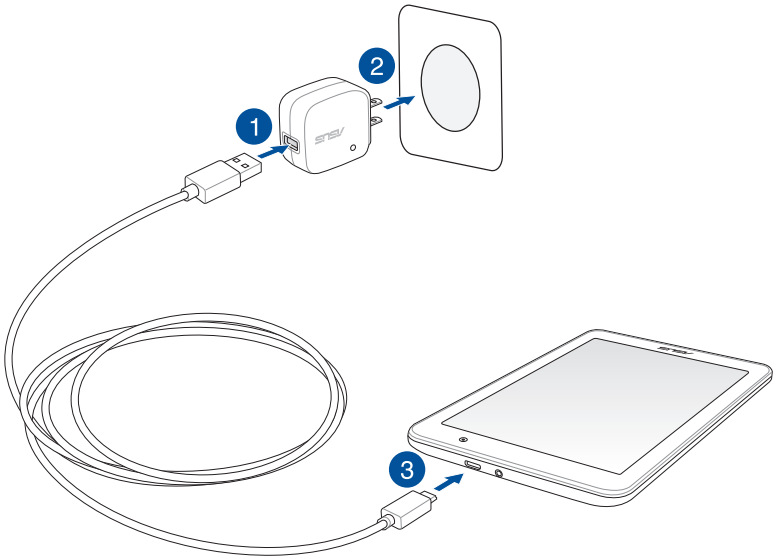
- 必ず付属の電源アダプターとUSBケーブルを使用して本機を充電してください。それ以外の電源アダプターを使用した場合、本機の故障の原因となります。
- 電源アダプターとmicro USBケーブルは保護フィルムを剥がしてからご使用ください。
- 電源アダプターを電源コンセントに接続する際は、入力定格が適切かどうかをご確認ください。100～240VのコンセントにAC電源アダプターを接続してください。
- 本機電源アダプターの出力電圧はDC 5.2V、1.35Aです。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 使用しないときは電源コンセントから電源アダプターを抜いてください。節電に繋がります。
- 本機の上に物を置いたり落としたりしないでください。

警告:

- 充電中に本機が熱くなる場合がありますがこれは正常です。ただし、異常に熱くなった場合は本機からmicro USBケーブルを抜き、ASUSコールセンターへ本機及び電源アダプターとケーブルを送付してください。
- 本機および電源アダプター、micor USBケーブルを末永くお使いいただくため、充電する前に、micro USBケーブル、電源アダプター、および本機が正しく接続されていることを確認してください。

手順

1. micro USBケーブルを電源アダプターに接続します。
2. 電源アダプターを電源コンセントに接続します。
3. micro USBケーブルを本機に接続します。



重要:

- 初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください。(約8時間)。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。
- バッテリーの充電状態は以下のアイコンで示されます。

4. 充電が完了したら本機からmicroUSBケーブルを抜き、その後で電源コンセントから電源アダプターのプラグを抜いてください。

注:

- 充電中も本機を使用することができますが 、充電時間は長くなります。
- コンピュータのUSBポート経由でデバイスを充電するデバイスを完全に充電するために時間がかかる場合があります。
- コンピューターのUSBポートからの供給電力が十分でない場合は、本機をコンセントに接続し充電することをお勧めします。

本機の電源をオン/オフにする

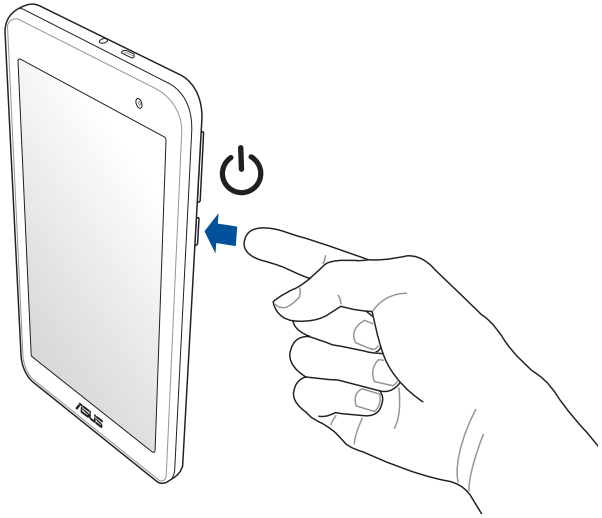
本機の電源をオンにする
本機の電源をオンにするには、電源ボタンを押し続けます。

本機の電源をオフにする
手順

1. 画面がオフになっている場合は、電源ボタンを押してオンにします。画面がロックされている場合は、デバイスの画面のロックを解除します。

2. 電源ボタンを長押しし、メッセージが表示されたら「**電源を切る**」をタップし「**OK**」をタップします。

スリープモード
スリープモードにするには、電源ボタンを1度押します。



初めて使用する

本機の電源を初めてオンにすると、セットアップウィザードが起動します。画面上の指示に従って使用言語を選択し、モバイルネットワークとWi-Fi、同期アカウント、位置情報サービス等を設定します。

GoogleアカウントまたはASUSアカウントでセットアップを実行してください。GoogleアカウントまたはASUSアカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成してください。

Googleアカウント

Googleアカウントを使用すると、Android OSの機能を全て利用することができます。

- 場所を選ばず情報の閲覧と管理を行います。
- 全てのデータを自動的にバックアップします。
- どこからでも便利なGoogleサービスを活用することができます。

ASUSアカウント

ASUSのアカウントを作成すると、以下の特典をご利用いただけます。

- ASUSの提供するサービスと保証の利用
- 容量5GBの無料のクラウドストレージと、購入初年度に限り11GBのストレージ容量
- ASUSの新製品情報

注: 必要に応じ、セットアップウィザードでいつでも本機を再セットアップすることができます。「**ホーム画面**」→「**すべてのアプリ**」→「**セットアップウィザード**」

バッテリー電力を長持ちさせるには

バッテリー電力を賢く使うことで、より快適に本機をご使用いただけます。バッテリーの電力消費を抑えるためのヒントをぜひご活用ください。

- 使用しないときは、電源ボタンを押してスリープモードにします。
- アプリ「AudioWizard」を省電力モードに設定します。
- オーディオを省電力モードにします。
- ディスプレイの輝度を下げます。
- スピーカーの音量を下げます。
- Wi-Fi機能を無効にします。
- Bluetooth機能を無効にします。
- Miracast機能を無効にします。
- GPSを無効にします。
- 画面の自動回転機能を無効にします。
- すべての自動同期機能を無効にします。

CHAPTER 2

ホーム画面

ホーム画面の機能

ホーム画面

ホーム画面では、重要なイベントの通知や、アプリとシステムの更新、天気予報、テキストメッセージの受信が可能です。

ホーム画面の非表示部分を表示するには、左または右にホーム画面をなぞります。

アイコンについて

ステータスバーに表示される各種アイコンは、本機の状態を表示しています。

Wi-Fi接続の信号の強さを示しています。

本機のバッテリーの状態を示しています。

microSDカードが本機に挿入されています。

本機でスクリーンショットを取ったときに表示されます。

本機は機内モードです。

本機のWi-Fiホットスポットが有効になっています。

省電力モードが有効になっています。

サイレントモードが有効になっています。

アプリやファイルのダウンロードの進行状態を示します。

アプリや更新がダウンロードされたときに表示されます。

ホーム画面の管理

壁紙のカスタマイズ、お気に入りアプリへのショートカットの追加、ウィジェットの追加などが可能です。ページを追加し、ホーム画面上でより多くのアプリやウィジェットにアクセス・レビューすることも可能です。

- ホーム画面に項目を追加するには、何も表示されていないエリアを長押しし、カテゴリーを選択します。
  アプリ、ウィジェット、壁紙、ホーム画面の編集

- ホーム画面のページを移動するには、画面を左右になぞります。

ショートカット

頻繁に使用するアプリのショートカットをホーム画面に追加することができます。

ショートカットを追加する

1. ホーム画面の何も表示されていないエリアを長押しし、「**アプリ**」を選択します。
2. すべてのアプリ画面からアプリを長押しし、ホーム画面の空いた場所にドラッグします。

ショートカットを削除する

ホーム画面の削除したいアプリを長押しし、画面上部の「**X削除**」までドラッグします。

ウィジェット

カレンダーや地図、バッテリーのウィジェットなどを追加することができます。

ウィジェットを追加する

1. ホーム画面の何も表示されていないエリアを長押しし、「**ウィジェット**」を選択します。
2. すべてのウィジェット画面からウィジェットを長押しし、ホーム画面の空いた場所にドラッグします。

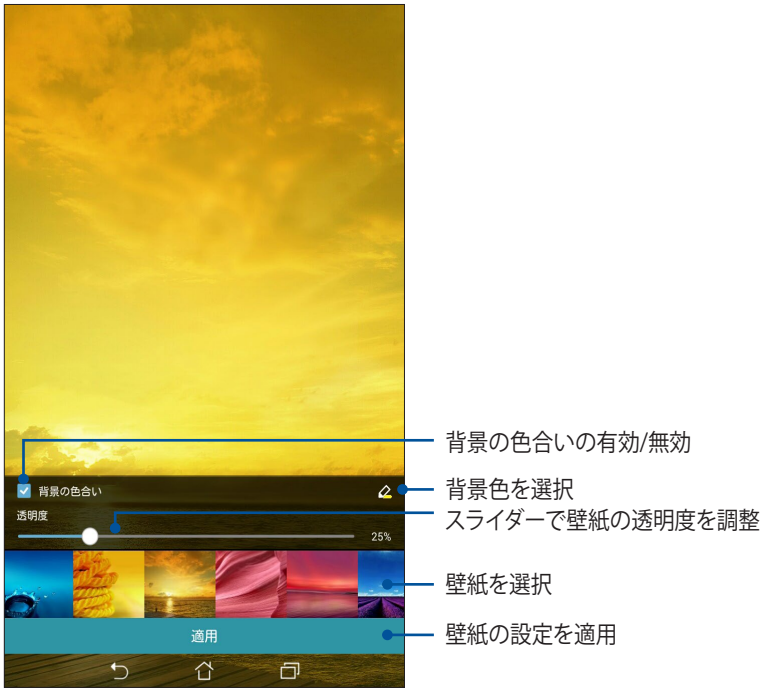
ウィジェットを削除する

ホーム画面の削除したいウィジェットを長押しし、画面上部の「**X削除**」までドラッグします。

注: ホーム画面の をタップし、「**すべてのアプリ**」と「**すべてのウィジェット**」を参照することもできます。

壁紙

ホーム画面の壁紙をカスタマイズすることができます。ホーム画面のコンテンツを読み易くするため、壁紙の色合いを半透明にすることができます。また、壁紙を動画に設定することもできます。



壁紙と背景色を適用する

手順

1. ホーム画面の何も表示されていないエリアを長押しし、「**壁紙**」を選択します。
2. 壁紙を使用する画面を選択します。
   ホーム画面、ロックスクリーン、両方
   壁紙に背景色を追加したくない場合は、手順5に進みます。
3. 「**透明度**」を選択し、透明度のレベルを調整します。
4. をタップし色を選択します。
5. 壁紙を選択し、「**適用**」をタップします。

注:

- 背景色は、ホーム画面またはホーム画面とロックスクリーンの両方に適用することができます。
- →「**設定**」→「**ディスプレイ**」からも壁紙の設定が可能です。

動画の壁紙を適用する

手順

1. ホーム画面の何も表示されていないエリアを長押しし、「**壁紙**」を選択します。
2. 壁紙を使用する画面を選択します。
   ホーム画面、ロックスクリーン、両方
3. ライブ壁紙を選択し「**適用**」をタップします。

注意: →「**設定**」→「**ディスプレイ**」からも壁紙の設定が可能です。

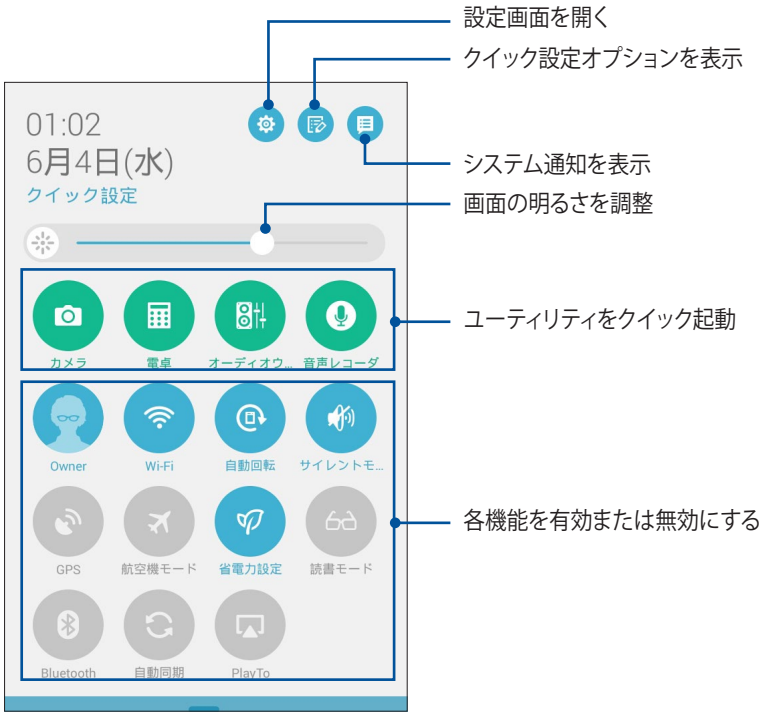
クイック設定

クイック設定を使用すれば、各機能をタップ操作1つだけで有効にすることができます。また、システム通知機能で最近の更新内容や変更を知ることができます。

アプリの使用中でも、クイック設定を起動することができます。

クイック設定の起動

本機の画面の右上から下になぞります。



クイック設定のコンテンツ

クイック設定では特定の機能をタップ操作1つだけで制御することができます。

設定画面の起動	をタップし、設定アプリを起動します。
クイック設定オプションを表示	をタップすると、通知パネル上の利用可能な機能がリスト表示されます。
システム通知	をタップすると、システム通知が表示されます。
クイック設定のホーム画面に戻る	をタップすると、システム通知画面からクイック設定のホーム画面に戻ります。
ディスプレイ設定画面	をタップすると、「ディスプレイ設定」が起動します。

クイック設定の通知パネルを使用する

クイック設定の通知パネルは、タップ操作1つだけで本機のワイヤレス機能などの設定を開くことができます。これらの各機能はボタンで表示されます。

注: ブルーのボタンは機能が有効に、グレーのボタンは無効になっていることを示しています。

ボタンの追加と削除

手順

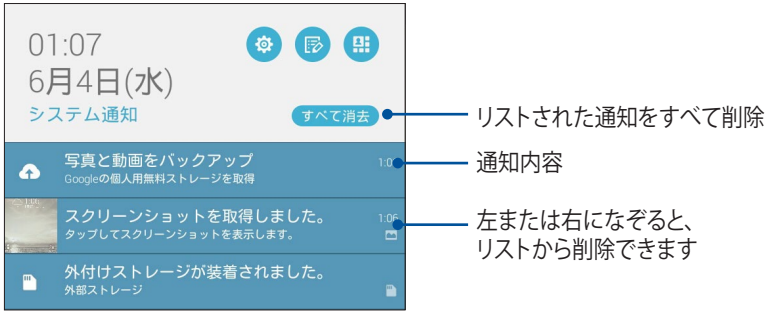
1. クイック設定を起動し をタップします。
2. 機能の横に表示されるボックスをタップし、クイック設定の通知パネルのボタンを追加/削除します。

注: ボックスにチェックが入った機能ボタンは、クイック設定の通知パネルからアクセス可能です。

3. をタップすると、クイック設定の通知パネルに戻ります。

システム通知を使用する

システム通知には、最近行った更新と変更が表示されます。多くはデータやシステムに関連するものです。システム通知画面は直感的にできており、次の方法で移動することもできます。



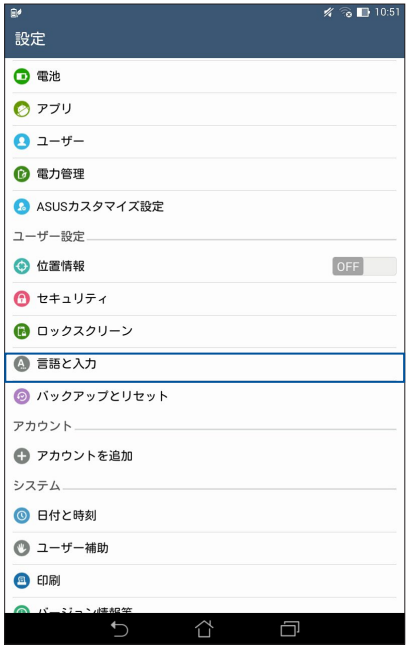
キーボードの設定

本機のタッチキーボードで、SMSメッセージ/電子メール/ログイン用の各パスワードを作成することができます。

キーボード設定を開く

1. クイック設定を起動し をタップします。

2. 設定画面を下にスクロールし、「**言語と入力**」を選択します。



3. 使用したいキーボードの変更や、キーボードの設定を変更することができます。

音声検索

音声検索アプリで音声コマンドを使用することで、本機で様々な操作が可能です。音声コマンドでは次のような操作が可能です。

- オンライン検索、または本機上のデータや情報を検索する
- 本機内のアプリを起動する
- 目的地までの経路を表示

重要: この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。

音声検索を起動する

1. ホーム画面から → 「**音声検索**」の順にタップします。
2. マイクのアイコンが赤くなったら、デバイスに向かって検索したい内容を話します。

注: 検索したい内容は、できるだけ簡潔にはっきり言うと識別される率が上がります。また、使用する機能に関連する内容に加えると、識別される率が上がります。

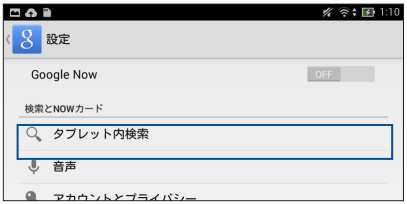
タブレット検索グループからの音声検索結果をカスタマイズする

Googleアカウントと本機のデータから収集された音声検索結果のパラメータを設定したい場合は、次の手順で行います。

1. 本機のホーム画面から →「**音声検索**」をタップします。

2. →「**設定**」をタップします。

3. 「**タブレット内検索**」をタップします。



4. 音声検索の使用時にソースとして追加したい検索グループのボックスをチェックします。

ロックスクリーン

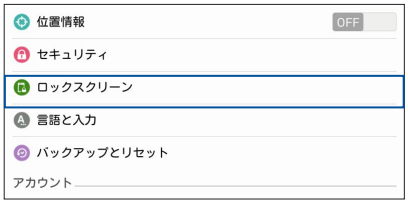
デフォルト設定では、ロックスクリーンは本機の電源を入れた後、またはスリープモードからウェイクアップした後に表示されます。ロックスクリーンでタッチスクリーンパネルをなぞると、Android OSが起動します。

ロックスクリーンをカスタマイズし、モバイルデータやアプリへのアクセスを制限することができます。

ロックスクリーンのカスタマイズ

次の手順で、ロックスクリーンのデフォルト設定である「**スライド**」から別の設定に変更することができます。

1. クイック設定を起動し をタップします。
2. 設定画面を下にスクロールし、「**ロックスクリーン**」を選択します。



3. 次の画面で、「**画面のロック**」をタップします。

4. 使用したい設定を選択します。

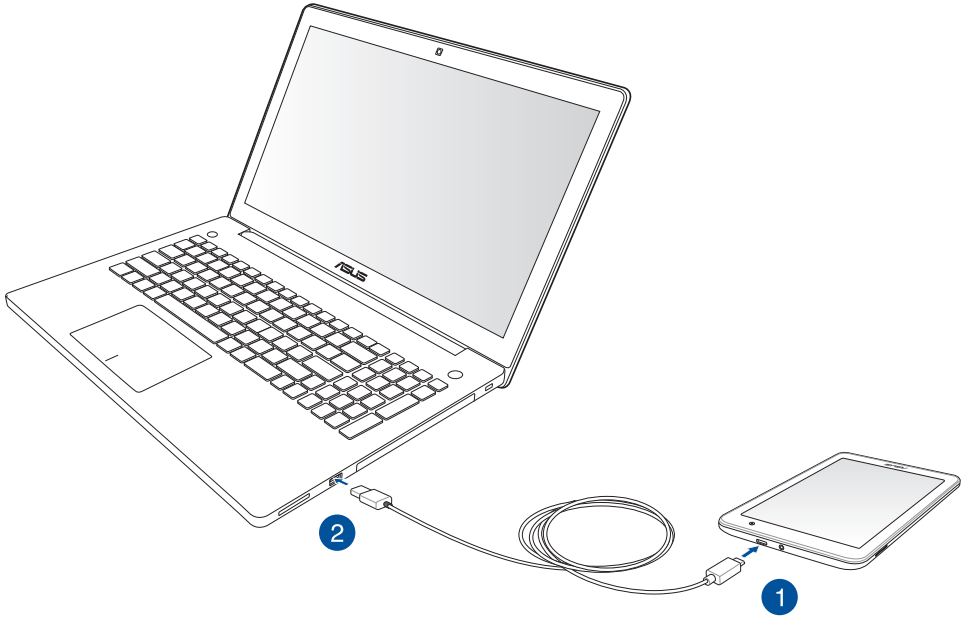
コンピューターへの接続

本機をコンピューターのUSBポートに接続すると、本機の充電やコンピューターとのファイル転送が可能です。

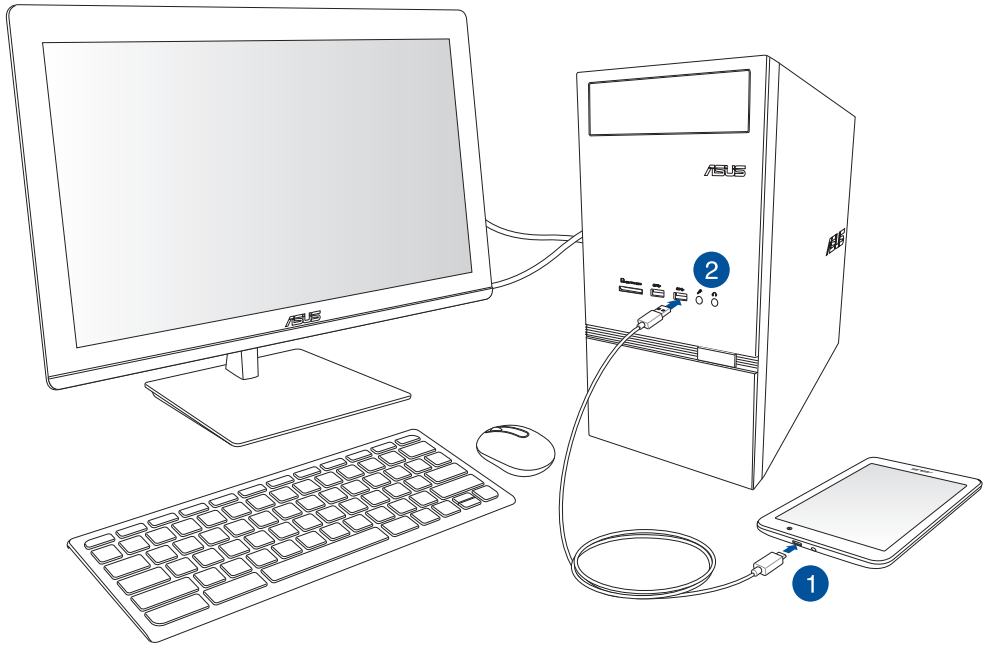
注:

- USBポートからの充電は、通常の充電方法より時間がかかります。
- 本機がスリープ (ディスプレイがオフ) 状態、または電源がオフの時のみ、充電されます。
- コンピューターのUSBポートからの供給電力が十分でない場合は、本機をコンセントに接続し充電することをお勧めします。

ノートパソコンへの接続



デスクトップPCへの接続



手順

1. micro USBコネクターを本機に接続します。
2. コンピューターのUSBポートにUSBコネクターを接続します。

CHAPTER 3

連絡先の管理

連絡先を管理する

メールアカウントと本機との間で、連絡先のインポート/エクスポートが可能です。

連絡先の追加

手順

1. ホーム画面から → 「**連絡帳**」の順にタップします。
2. をタップし、連絡先として保存したいアカウントを選択します。
   a. メールアカウント
   b. デバイス

注: メールアカウントをお持ちでない場合は「**アカウントの追加**」をタップし、作成してください。

3. その後は画面上の指示に従って、新しい連絡先を保存/追加します。

連絡先をインポートする

別のソースと本機またはメールアカウントとの間で、連絡先と関連データをインポートすることができます。

手順

1. ホーム画面から →「**連絡帳**」の順にタップします。
2. →「**連絡先の管理**」→「**インポート/エクスポート**」→「**ストレージからインポート**」の順にタップします。
3. 連絡先をインポートしたいアカウントをタップします。
   a. Eメール
   b. デバイス

4. 画面上の指示に従ってインポートを行います。

連絡先のエクスポート

本機内のストレージアカウントのいずれかに連絡先をエクスポートすることができます。

1. ホーム画面から →「**連絡帳**」の順にタップします。
2. →「**連絡先の管理**」→「**インポート/エクスポート**」→「**ストレージにエクスポート**」の順にタップします。
3. タップし、次のアカウントから連絡先を選択します。
   a. すべての連絡先
   b. Eメール
   c. デバイス

4. 画面上の指示に従ってエクスポートを行います。

CHAPTER 4

Omletチャットを使用する

Omletチャット

Omletチャットはオンラインメッセージアプリです。チャットの他にマルチメディアメッセージの送信、クラウドストレージへのデータの保存なども可能です。

注: Omletチャットは一部の国や地域でのみ利用することができます。

Omletチャットへの登録

携帯電話の番号、メールアカウントまたはFacebookのアカウントで、Omletチャットに登録することができます。

携帯電話番号の登録

携帯電話の番号でOmletチャットにサインインします。

携帯電話の番号の登録

1. ホーム画面から →「**Omletチャット**」の順にタップします。
2. サインイン画面で国を選択し、電話番号を入力し「**次へ**」をタップします。Omletチャットは登録作業を実行するため、PINを含むテキストメッセージを送信します。
3. PINを入力し「**次へ**」をタップします。
4. 名前を入力し、「**開始**」をタップします。
5. Omletチャットで連絡先リストからの友だちを自動的に更新する場合は、「**OK!そうしましょう!**」をタップします。手動で追加する場合は「**いいえ。結構です。**」をタップします。

注:

- アプリの説明を含む一連の画面が表示されます。Omletチャットのメイン画面が表示されるまで、画面の指示に従ってください。
- Omletチャットで連絡先が追加できるのは、Omletチャットをインストールしたデバイスだけです。

6. Omletチャットのメイン画面で「**チャットの開始**」をタップし、チャット相手を選択します。

EメールやFacebookのアカウントの登録

メールアカウントまたはFacebookアカウントでOmletチャットにサインインします。

手順

1. ホーム画面から →「**Omletチャット**」の順にタップします。
2. サインイン画面で「**ここで別のアカウントを登録**」をタップし、メールまたはFacebookからアカウントを選択し、画面の指示に従ってサインインを行います。
   - メールを選択した場合は、メールアカウントを入力し「**次へ**」をタップします。Omletチャットはメールアカウントに確認メッセージを送信します。
   - Facebookを選択した場合はFacebookが開きます。Facebookアカウントにログインしてください。
3. 名前を入力し、「**開始**」をタップします。
4. Omletチャットで連絡先リストからの友だちを自動的に更新する場合は、「**OK!そうしましょう!**」をタップします。手動で追加する場合は「**いいえ。結構です。**」をタップします。

   注:

   - アプリの説明を含む一連の画面が表示されます。Omletチャットのメイン画面が表示されるまで、画面の指示に従ってください。
   - Omletチャットで連絡先が追加できるのは、Omletチャットをインストールしたデバイスだけです。

5. Omletチャットのメイン画面で「**チャットの開始**」をタップし、チャット相手を選択します。

Omletに招待する

Omletチャットに連絡先を追加するには、連絡先のユーザーがOmletチャットを使用する必要があります。使用していないお友達をOmletチャットに招待しましょう

手順

1. Omletチャットメニューの「**連絡先**」をタップします。

2. 連絡先追加画面で「**友人を招待**」をタップし、次のオプションのいずれかを選択します。

   - **電子メールまたは電話番号から招待**
     友達の携帯電話の番号またはメールアドレスを入力し、「**チャットの開始**」をタップします。

   - **Facebookの友達を招待**
     Facebookのアカウントにログインします。

   - **アドレス帳友達を招待**
     メールの連絡先リストからの招待する友人を選択します。

3. Omletチャットはあなたのアカウントの連絡先を収集します。連絡先を選択した後、画面の指示に従って操作を完了してください。

   - Facebookアプリでは、連絡先をタップして選択し、「**送信**」をタップします。

   - アドレス帳では、連絡先を選択し「**招待する**」をタップします。

Omletチャットの使用

Omletチャットは文字チャットはもちろん、マルチメディアメッセージの送信が可能な、楽しく創造的でインタラクティブなチャットツールです。

会話を始めるには、Omletチャットメニューから「**連絡先**」をタップし、連絡先をタップします。

チャットメッセージの送信

メッセージを送信するには、「**どうしてますか?**」の欄に文字を入力し をタップします。

音声メッセージの送信

音声メッセージを送信するには、 を長押ししながら、マイクに向かって話します。 を離すとメッセージを送信します。

ステッカーの送信

ステッカーを送信するには、使用可能なステッカーを選択し、をタップします。

> **注:** Sticker Storeからステッカーをダウンロードすることができます。ステッカーをダウンロードするには、→ → の順にタップします。

マルチメディアメッセージの送信

チャットのスレッドから をタップし、これらのアイコンから選択してマルチメディアメッセージを送信します。

上の画面を上方向になぞるとこれらのアイコンが表示されます。

CHAPTER 5

メール機能

メール

Exchange、Gmail、Yahoo! メール、Outlook、POP3/IMAPアカウントを追加すれば、本機でメールの作成・受信・閲覧が可能です。メールアカウントと本機との間で、メールの連絡先の同期も可能です。

重要: メールアカウントの追加、追加したメールアカウントでのメールの送受信を行うには、インターネットに接続する必要があります。

メールアカウントの作成

メールアカウントのセットアップ

1. ホーム画面で「**メール**」をタップし、メールアプリを起動します。
2. 設定したいメールプロバイダーをタップします。
3. メールアドレスとアカウントを入力し、「**次へ**」をタップします。

注: 本機が受信/送信メールサーバー設定を自動的にチェックします。しばらくお待ちください。

4. 「**アカウント設定**」では、受信トレイの確認頻度、同期する日、受信メールの通知などの設定を行うことができます。完了したら「**次へ**」をタップします。
5. 発信メッセージに表示させたいアカウント名を入力し、「**次へ**」をタップし受信箱にログインします。

メールアカウントの追加

手順

1. ホーム画面で「**メール**」をタップし、メールアプリを起動します。
2. ⋮→「**設定**」の順にタップし、メールアカウントを追加します。
3. 設定したいメールプロバイダーをタップします。
4. 画面の指示に従い、新しいメールアカウントの設定を完了します。

注:「メールアカウントの作成」の手順3から5に従ってセットアップを行うこともできます。

Gmail

GmailではGmailアカウントの新規作成、メールの送受信、メールの参照、同期を行うことができます。

Gmailアカウントの作成

1. 「**Google**」→「**Gmail**」の順にタップします。
2. 「**既存のアカウント**」をタップしGmailアカウントとパスワードを入力し、▶ をタップします。

注:

- Googleアカウントをお持ちでない場合は、「**新しいアカウント**」をタップします。
- サインインの際は、本機がGoogleサーバーと通信しアカウントを作成します。完了するまでしばらく時間がかかります。

3. Google アカウントを使用し、ユーザー設定とデータをバップアップ・復元することができます。▶をタップし、Gmailにサインインします。

重要: 複数のメールアカウントをGmailに追加する場合は、メールアプリで全てのメールアカウントにアクセスすることができます。

CHAPTER 6

写真・動画の撮影

カメラアプリの起動

本機に搭載のカメラアプリで、写真や動画を撮影することができます。カメラアプリを開くには、次のいずれかの手順行います。

ロックスクリーンから

カメラアプリが起動されるまで を下方向にドラッグします。

ホーム画面から

「**カメラ**」をタップします。

すべてのアプリ画面から

ホーム画面から →「**カメラ**」の順にタップします。

音量キーを使用して

本機がスリープ状態のときは、音量キーをダブルクリックし、ウェイクアップしてカメラアプリを起動します。

> **注:** 音量キーでカメラアプリを起動する場合は、事前にこの機能を有効にする必要があります。「**設定**」→「**ロックスクリーン**」でインスタントカメラをONにスライドし、有効にします。

カメラを初めて使用する

カメラを初めて起動すると、チュートリアルと撮影場所の2つの機能が起動します。

チュートリアル

初めて本機のカメラを使用しカメラアプリを起動すると、次のチュートリアル画面が表示されます。次の手順でこの機能を使用します。

1. チュートリアルを参照しない場合は「**無視**」を、参照する場合は「**開始**」をタップします。
2. 続いて撮影場所画面が表示されます。

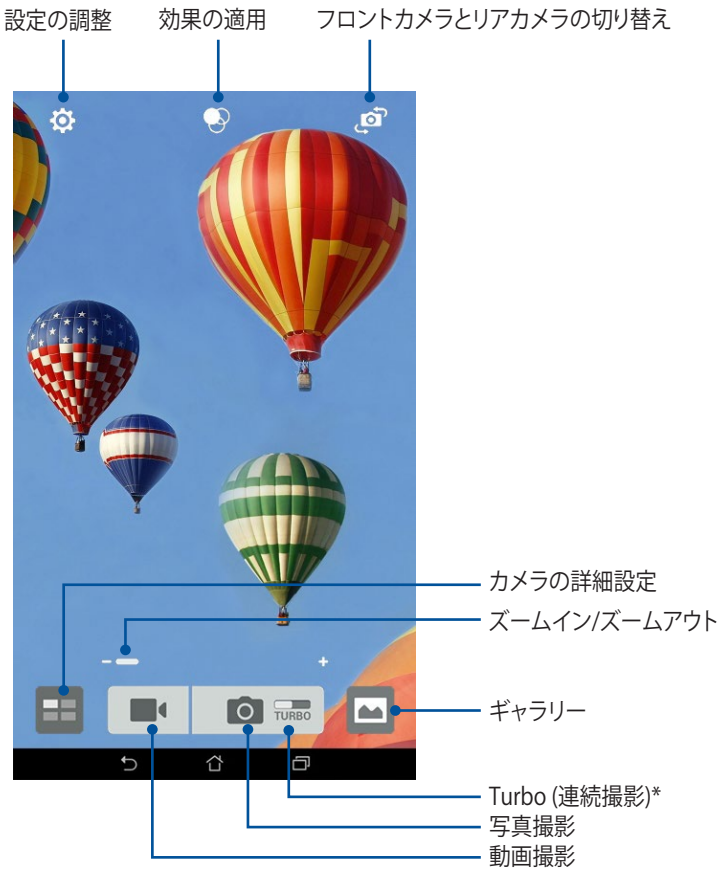
撮影場所

チュートリアルの後に撮影場所の記録の設定画面が表示されます。この機能で、画像や動画用に自動的に場所タグを作成することができます。次の手順に従って、この機能をご利用ください。

1. 撮影場所画面でカメラ画面に進むには「**いいえ**」を、場所タグのセットアップを行うには「**はい**」をタップします。
2. 「**位置情報**」を「**ON**」にスライドすると場所タグ機能が有効になります。
3. 次の画面で「**同意する**」をタップすると、機能が完全に有効になります。続いてカメラ画面が開きます。

カメラのホーム画面

各アイコンでカメラアプリの操作を行います。



注: 連続撮影機能の内容はモデルにより異なる場合があります。

写真の設定

次の手順でカメラの設定を行います。撮影した画像を調整することができます。

重要: 写真や動画を撮る前に設定を適用してください。

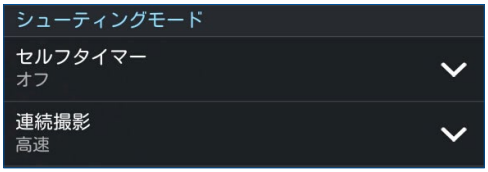
1. カメラのホーム画面で、 → の順にタップします。
2. 下方向にスクロールし、使用可能なオプションを設定します。

写真

画質を調整することができます。

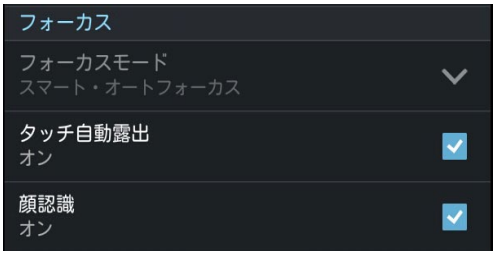
シューティングモード（撮影モード）

タイマー機能のシャッター速度やバースト（連続撮影）機能の速度を調整することができます。



フォーカス設定

「**タッチ自動露出**」または「**顔認識**」を有効にします。



動画の設定

次の手順でカメラの設定を行います。撮影した動画を調整することができます。

重要: 写真や動画を撮る前に設定を適用してください。

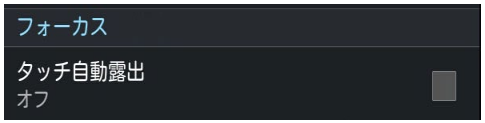
1. カメラのホーム画面で、 → の順にタップします。
2. 下方向にスクロールし、使用可能なオプションを設定します。

動画

動画の画質を調整することができます。

フォーカス

「**タッチ自動露出**」を有効にします。



カメラ詳細機能

詳細機能を利用することで、写真・動画の撮影がより楽しくより豊かなものになります。

> **重要:** 写真や動画を撮る前に設定を適用してください。利用可能な機能は、モデルによって異なる場合があります。

タイムシフト撮影

「**タイムシフト撮影**」を選択すると、シャッターボタンを押す2秒前にバースト（連続）撮影を行います。その結果、写真の中から一番気に入ったものをギャラリーに保存することができます。

> **注:** タイムシフト撮影機能はリアカメラでのみ利用できる機能です。

タイムシフト撮影機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、をタップします。
2. →「**タイムシフト撮影**」の順にタップします。
3. または音量キーをタップし、写真の撮影を開始します。

タイムシフト撮影ビューア

1. シャッターを押すと、タイムシフト撮影ビューアが撮影した写真の上部に表示されます。ビューアのボタンを回転すると、撮影した写真を閲覧することができます。

   > **注:** 「**Best**」をタップすると、お勧めの写真が選択されます。

2. 写真を選択し「**完了**」をタップし、ギャラリーに保存します。

HDR

HDR（High-dynamic-range）機能は、明暗部分を強調することで肉眼で見た映像により近い写真を合成する技術です。HDRは明るい場所で取った写真の処理に適しています。

HDR機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、 をタップします。
2. →「**HDR**」をタップします。
3. または音量キーをタップし、HDR写真の撮影を開始します。

パノラマ

パノラマを使用して様々な角度から写真を撮影することができます。広い範囲から撮影した写真を自動的にパノラマ画像に合成します。

パノラマ写真の撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、 をタップします。
2. →「**パノラマ**」の順にタップします。
3. または音量キーをタップし、本機を左右いずれかの方向にゆっくり動かしながら写真を撮影します。

   注: パノラマ撮影中は、複数のサムネール写真が時系列で表示されます。

4. 完了したら をタップします。

夜景

この機能は、夜間や暗い場所での撮影に適しています。

注: 撮影中は本機が揺れないようご注意ください。写真の乱れの原因となります。

夜景機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、▬▬をタップします。
2. →「**夜景**」の順にタップします。
3. または音量キーをタップし、写真の撮影を開始します。

自分撮り

高解像度リアカメラはシャッターボタンを押さずに、写真を撮影することができます。搭載の顔検出機能により顔を4つまで検出するため、自分撮り（グループ撮りも）が簡単に楽しめます。

自分撮り機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、をタップします。
2. →「**自分撮り**」の順にタップします。
3. をタップし、写真に含む人数を選択します。
4. リアカメラは顔を検出するとカウントダウンを始め、自動的に写真を撮影します。
5. タイムシフト撮影ビューアが撮影した写真の上部に表示されます。ビューアのボタンを回転すると、撮影した写真を閲覧することができます。
6. 写真を選択し「**完了**」をタップし、ギャラリーに保存します。

スマートリムーブ

写真を撮影した後に不要な部分を削除することができます。

スマートリムーブ機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、をタップします。
2. →「**スマートリムーブ**」の順にタップします。
3. または音量キーをタップし、写真の撮影を開始します。
4. 次の画面では、撮影した写真とその中で削除できる部分が表示されます。
5. をタップし、検出された部分を削除する、または をタップし、カメラアプリに戻ります。

オールスマイル

笑顔の写った写真を撮りやすくする機能です。この機能を有効にしシャッターボタンを押すと、顔を検出してから自動的に写真を5枚撮影します。

オールスマイル機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、をタップします。
2. →「**オールスマイル**」の順にタップします。
3. または音量キーをタップし、写真の撮影を開始します。
5. 画面上の指示に従って一番気に入った写真を選択します。

美人効果

顔を検出して、より美しくハンサムに加工することができます。各種効果により、顔を美しく加工します。

美人効果機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、▪▪をタップします。
2. →「**美人効果**」の順にタップします。
3. をタップし、写真の撮影を開始します。

GIFアニメーション

GIFアニメーション写真を作成することができます。

GIUFアニメーション機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、▪▪をタップします。
2. →「**GIFアニメーション**」の順にタップします。
3. をタップし、写真の撮影を開始します。

単焦点

単焦点機能で柔らかな背景のマクロ写真を撮影することができます。この機能はクローズアップした写真をより詳細に撮影することができます。

注: この機能の内容はモデルにより異なる場合があります。

単焦点機能での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、をタップします。
2. →「**単焦点**」の順にタップします。
3. または音量キーをタップし、写真の撮影を開始します。

低速度撮影

低速度撮影を使用すると、低速度撮影の静止写真を自動的に撮影することができます。低速度撮影では、撮影時間は長くなりますが 、再生時は早送りのように再生されます。

低速度撮影での写真撮影

1. カメラアプリのホーム画面で、をタップします。
2. →「**低速度撮影**」の順にタップします。
3. をタップし、写真の撮影を開始します。

Party Link

この機能を有効に、グループを新規作成する、または既存のグループに参加し、リアルタイムで写真を共有することができます。インターネット接続が利用できない場合でも、友達と一緒に写った写真をすぐに送受信することができます。

重要: 送受信を行うデバイスにもParty Linkがインストールされている必要があります。

写真の共有

本機で撮影した写真を共有する:

1. カメラを起動し をタップします。

2. →「**OK**」をタップします。

3. (オプション) Party Linkのホーム画面で次の項目を設定します。

4. 「**グループを作成する**」または「**グループに参加する**」をタップし、撮影した写真を共有します。

重要: パスワードで保護するグループを作成した場合、写真を受信するユーザーはそのパスワードを共有する必要があります。

写真の受信

Party Link使用デバイスから写真を受信する：

1. カメラを起動し をタップします。
2. →「**OK**」をタップします。

3. 「**グループを作成する**」→「**スキャンする**」の順にタップし、他のParty Link使用デバイスを検索します。
4. リストから参加したいグループをタップし、「**参加する**」をタップします。
5. (オプション)グループがパスワードで保護されている場合、続行するにはパスワードが必要です。

CHAPTER 7

ギャラリー

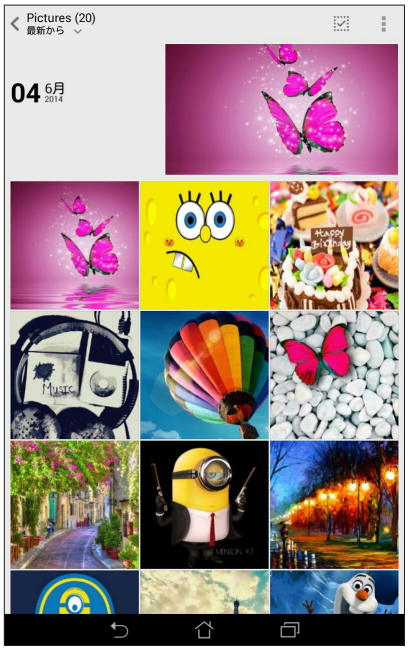
ギャラリーの使用

ギャラリーでは画像の参照や動画の再生が可能です。

また、本機に保存した画像や動画ファイルの編集、共有、削除も可能です。ギャラリーでは、スライドショーの再生や画像/動画ファイルの参照が可能です。

ギャラリーを起動するには、→「**ギャラリー**」の順にタップします。

メイン画面



他のソースの場所からファイルを参照する

デフォルト設定では、本機内の全てのファイルがアルバムとしてギャラリーに表示されます。

他の場所にあるファイルを本機で表示する

1. メイン画面から ☰ をタップします。
2. ソースを選択すると、そのファイルが表示されます。

重要:「**マイクラウド写真**」と「**友達の写真**」内のファイルを参照するには、インターネット接続が必要です。

ギャラリーのファイルを共有する

手順

1. ギャラリー画面から、共有したいファイルが保存されているフォルダーをタップします。
2. フォルダーを開き、 をタップしてファイルを選択します。
3. 共有したいファイルをタップします。選択すると画像の上にチェックマークが表示されます。
4. をタップし、画像を共有したい場所をリストから選択します。

ギャラリーからファイルを削除

手順

1. ギャラリー画面から、削除したいファイルが保存されているフォルダーをタップします。
2. フォルダーを開き、 をタップしてファイルを選択します。
3. 削除するファイルをタップします。選択すると画像の上にチェックマークが表示されます。
4. をタップします。

画像の編集

ギャラリーでは、独自の画像編集ツールで本機に保存した画像を編集することができます。

手順

1. ギャラリー画面から、編集したいファイルが保存されているフォルダーをタップします。
2. フォルダーを開き、タップしてファイルを選択します。
3. 画像が開いたら、もう一度タップすると各種機能が表示されます。
4. をタップすると、編集用のツールバーが表示されます。
5. ツールバー上のアイコンをタップし、画像の編集を行います。

サムネイルや画像をズームイン/アウト

ギャラリー画面や画像を選択し、スクリーンパネル上で2本の指を広げると、画像がズームインします。指を狭めるとズームアウトします。

CHAPTER 8

仕事は楽しく、遊びはもっと楽しく

Supernote

Supernoteを使用すれば、メモを取る作業が楽しくなります。他の携帯端末とのデータの同期も簡単です。

直感的に設計されており、タッチスクリーンに書き込んだ手書きデータや絵を、ノートとして保存することができます。また、他のアプリからマルチメディアファイルを追加し、ソーシャルネットワークやクラウドストレージアカウントを通じて共有することもできます。

アイコンについて

選択した入力モードに応じ、メモ入力時に次のようなアイコンが表示されます。

描画モードでは、あなたのノートにいくつかの内容を消去するには、このアイコンをタップします。

手書き入力を行います。

絵や落書きを入力します。

「書く」モード、「タイプ」モードでこのアイコンをタップするとテキストの色と太さの変更が可能です。

「描く」モードでこのアイコンをタップすると、絵を描くためのツール、ペンの色とサイズを選択することができます。

「描く」モードでこのアイコンをタップすると、コンテンツを削除することができます。

画像や動画、オーディオ、タイムスタンプをメモに追加します。

新規ページを作成します。

ノートの作成

次の手順でSupernoteで新しいファイルを作成します。

1. →「**Supernote**」の順にタップします。
2. 「**新しいノートの追加**」をタップします。
3. ファイルに名前を付け、ページサイズを「**パッド用**」または「**Phone用**」から選択します。
4. テンプレートを選択し、メモを作成します。

クラウドでのノートの共有

次の手順で、クラウド上でノートを共有することができます。

1. Supernoteのホーム画面で共有したいノートを長押しします。
2. ポップアップが表示されますので、「**Cloud Syncを有効にする**」をタップします。
3. ASUS WebStorageアカウントのユーザー名とパスワードの詳細を入力し、クラウド同期を行います。
4. ノートが正常にクラウドに同期されると、クラウドアイコンが共有したノートの上部に表示されます。

クラウドでのメモの共有

ノートだけではなく、クラウドストレージアカウントにSupernoteで入力したメモを共有することもできます。

1. 共有したいメモを含むノートを開きます。
2. 共有したいメモを長押しします。

3. ポップアップが表示されますので、「**共有**」をタップし、共有する際のファイルフォーマットを選択します。

4. 次の画面でメモを共有したいクラウドストレージのアカウントを選択します。

5. 表示される指示に従って、作業を実行します。

カレンダー

大切なイベントなどを追加し、スケジュールを管理するのに最適なアプリです。イベントの作成はもちろん、メモやリマインダーの追加、カウントダウンの設定もできますので、大切なイベントを見逃しません。

イベントの作成

1. ホーム画面から →「**カレンダー**」の順にタップします。

2. 「**予定を作成**」をタップし、イベントを作成します。

3. 必要な情報を入力します。

4. 完了したら をタップし保存します。

カレンダーへのアカウントの追加

イベントの作成の他にも、イベントをオンラインアカウントと自動同期することもできます。この機能を使用するには、次の手順でアカウントをカレンダーに追加する必要があります。

1. 「**カレンダー**」を起動します。
2. →「**アカウント**」の順にタップします。
3. 追加したいアカウントをタップします。
4. その後は画面上の指示に従って、アカウントをカレンダーに追加します。

アカウントからのイベントの作成

カレンダーの同期を行うアカウントを追加した後、次の手順でそれらのアカウントの通知を作成することができます。

> **注**: 次の手順を続行する際は、事前にオンラインアカウントをカレンダーに追加する必要があります。詳細については、本マニュアルの「カレンダーへのアカウントの追加」をご参照ください。

1. →「**カレンダー**」の順にタップします。
2. 「**予定を作成**」をタップし、イベントを作成します。
3. 「**My Calendar**」をタップし、カレンダーと同期されているアカウントを参照します。
4. 新しいイベントの作成先となるアカウントを選択します。
5. 必要な情報を入力します。

What's Next

大切な人からのメッセージ、メール、着信電話など、もう大切なイベントを見逃すことはありません。イベント、お気に入りやVIPグループ、天気予報の更新設定等を設定し、「What's Next」の通知機能やリマインダー機能を利用することができます。「What's Next」の通知は、ロックスクリーン、システム通知パネル、「What's Next」のウィジェットやアプリで参照することができます。

「What's Next」を初めて使用するときは、カレンダーのアカウントを設定する、または本機のカレンダーアプリを使用する必要があります。

注:

- 大切な人から不在着信や未読メッセージ、電子メールの通知を受信するため、お気に入りの連絡先やVIPのグループを設定します。
- カレンダーでのイベント作成についての詳細は、「カレンダー」をご参照ください。
- 天気情報の取得についての詳細は「天候」をご参照ください。

やることリスト

重要でないイベントや情報も見逃しません。通話やメール、SMSメッセージに返信できないときでも、忘れないようにマークを付けることで、後で処理ができるようにアシストするツールです。

未読メール、読みたいウェブサイト、不在着信電話などを「**後で返信**」、「**後で読む**」、「**後で電話**」の項目に追加し、後でやるタスクとし、時間ができたときに実行できるようにします。

注:

- 次のアプリは「やることリスト」をサポートしています。
  Google Maps、Google Chrome、Google Play、YouTube、iMDb
- すべてのアプリで「やることリスト」のタスクの共有と追加ができるわけではありません。

タスクの作成と参照

後でやるタスクとして追加しておけば、時間ができたときにタスクを「やることリスト」で実行することができます。

手順

1. ホーム画面から「**すべてのアプリ**」→ ⁘ →「**やることリスト**」の順にタップします。
2. 実行したいタスクを選択します。

タスクの作成

「やることリスト」画面で ＋ をタップし、タスクを作成します。

天候

天気予報をリアルタイムで参照することができます。他の地域の天気予報を参照することもできます。

ホーム画面

設定

他の地域の天気情報

下方向になぞると、
他の気象情報を表示

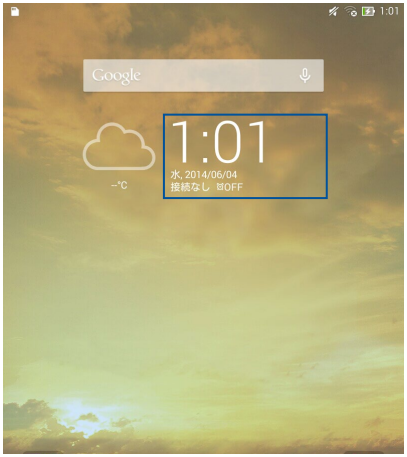
時計

タイムゾーンのカスタマイズ、アラーム、ストップウォッチ機能などを利用することができます。

アプリの起動

次のいずれかの手順で起動します。

- 本機のホーム画面で、デジタル時計をタップします。



- →「**時計**」の順にタップします。

世界時計

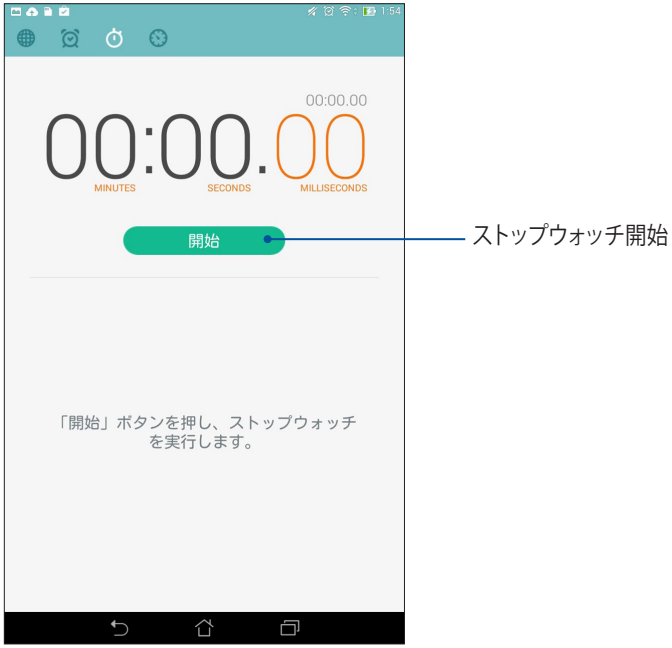
をタップすると、世界時計の設定画面が開きます。

アラームクロック

をタップすると、アラームクロックの設定画面が開きます。

ストップウォッチ

をタップすると、ストップウォッチ機能が起動します。



タイマー

本機には様々なタイマー機能が搭載されています。

タイマーの設定

1. をタップすると、タイマー機能が起動します。

2. テンキーで時間を入力し、「**開始**」をタップしタイマーを実行します。

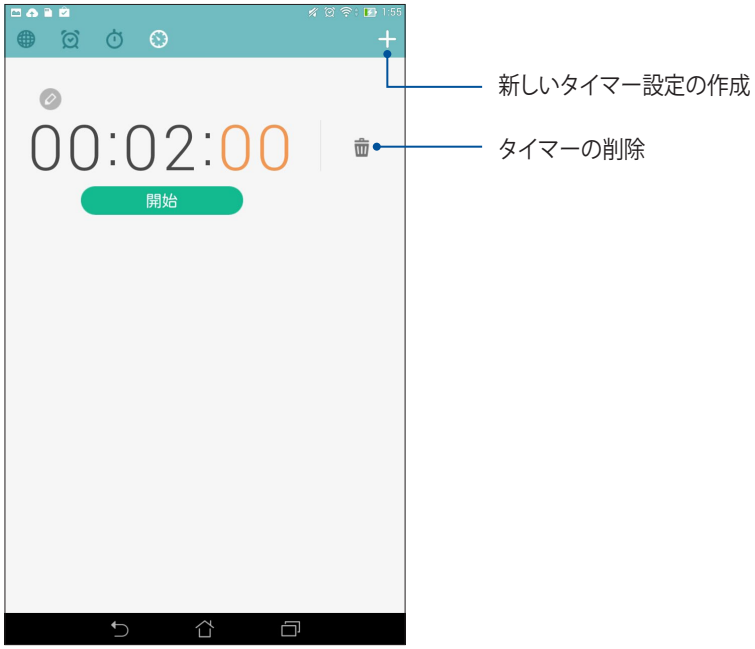
タイマー設定の追加と削除

タイマーの設定の追加と削除か可能です。

手順

1. をタップすると、タイマー機能が起動します。

2. 以前に作成した場合、タイマーの設定がタイマーのホーム画面に表示されます。タイマーのホーム画面のアイコンで、タイマーの設定を追加/削除します。



ファイルマネージャー

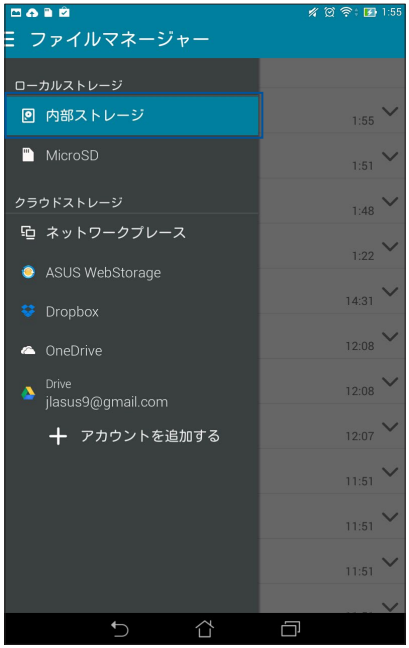
内部ストレージまたは外付けストレージ内のデータへのアクセス、管理を行うことができます。

内部ストレージへのアクセス

手順

1. →「**ファイルマネージャー**」の順にタップします。

2. をタップし、「**内部ストレージ**」をタップし、本機の内部ストレージのコンテンツから項目を選択して参照します。



外付けストレージへのアクセス

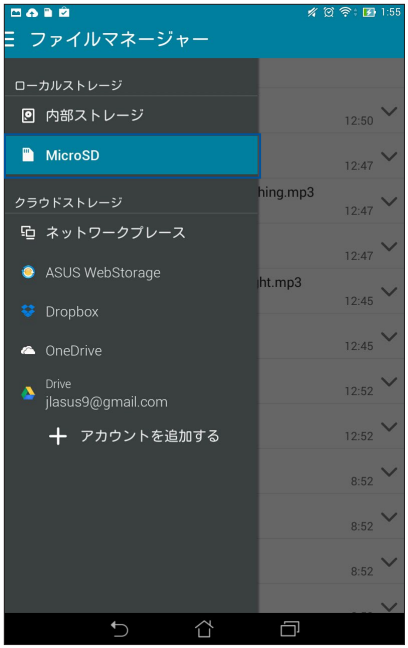
手順

1. 本機にmicroSDカードを挿入します。

   注：詳細については、「メモリカードの取り付け」をご参照ください。

2. →「**ファイルマネージャー**」の順にタップします。

3. →「**MicroSD**」をタップすると、microSDカード内のコンテンツを参照することができます。

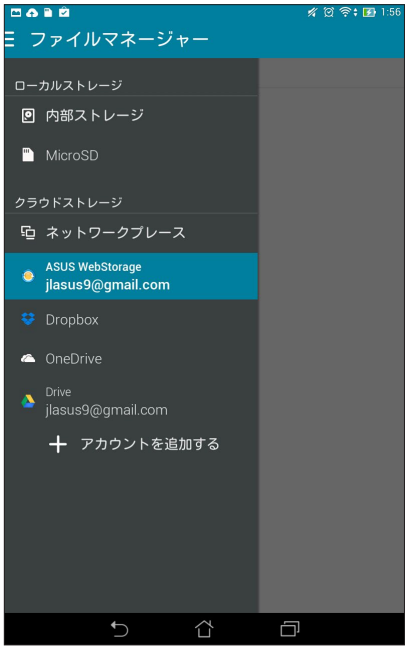


クラウドストレージへのアクセス

重要: クラウドストレージのファイルを表示するには、Wi-Fi接続が必要です。

手順

1. →「**ファイルマネージャー**」の順にタップします。
2. をタップし、「**クラウドストレージ**」からクラウドを選択します。



CHAPTER 9

インターネット

ブラウザー

ブラウザーの美しく直感的なZenインターフェースはChrome系ブラウザーエンジンを使用しており、ページの読み込みが速く快適なウェブサーフィンをお楽しみいただけます。また、ウェブコンテンツの共有やメールでの転送、後で実行するタスクとして送信することもできます。

ロックスクリーンからのブラウザーの起動

ブラウザーが起動するまで を下方向にドラッグします。

ホーム画面からのブラウザーの起動

ホーム画面から をタップします。

ページの共有

共有したいページを選択し、 をタップします。

- ページを共有するには、「**ページの共有**」をタップし共有先のアカウントまたはアプリを選択します。
- 後で読みたいページを送信するには、「**後で読む**」をタップします。このページはアプリ「やることリスト」のタスクとして追加されます。

注:

- 本機がWi-Fiネットワークまたはモバイルネットワークに接続されている必要があります。
- モバイルネットワークを使用する際は、接続料金が高額となる場合があります。ご注意ください。
- 詳細は「Wi-Fiネットワークへの接続」をご参照ください。
- 「**すべてのアプリ**」から「**やることリスト**」のタスクを開きます。

CHAPTER 10

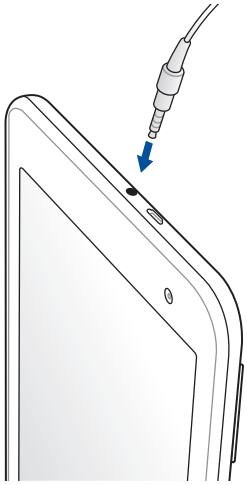
エンターテイメントセンターとして

ヘッドセットの使用

ヘッドセットを接続すれば、通話や音楽を楽しむことができます。

オーディオジャックへの接続

3.5mmヘッドセットジャックを本機のマイクロホン/ヘッドホン・コンボジャックポートに接続します。



警告:

- マイクロホン/ヘッドホン・コンボジャックポートに他の物を接続しないでください。
- 電力を出力するケーブルをマイクロホン/ヘッドホン・コンボジャックポートに接続しないでください。
- 大音量で長い時間音声を聴くと、難聴などの原因となる恐れがあります。

注:

- 音楽の再生中にオーディオジャックを抜くと、再生が自動的に一時停止します。
- 動画の再生中にオーディオジャックを抜くと、再生が自動的に一時停止します。

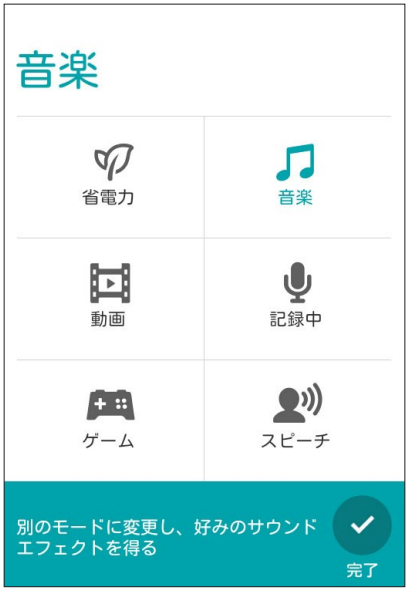
AudioWizard

AudioWizardでは本機のサウンドモードをカスタマイズし、用途に合ったクリアなサウンドを提供します。

AudioWizardの使用

手順

1. ホーム画面から「**AudioWizard**」をタップします。
2. AudioWizardウィンドウで有効にしたいサウンドモードを選択し、「**完了**」をタップし設定を保存します。



Play ゲーム

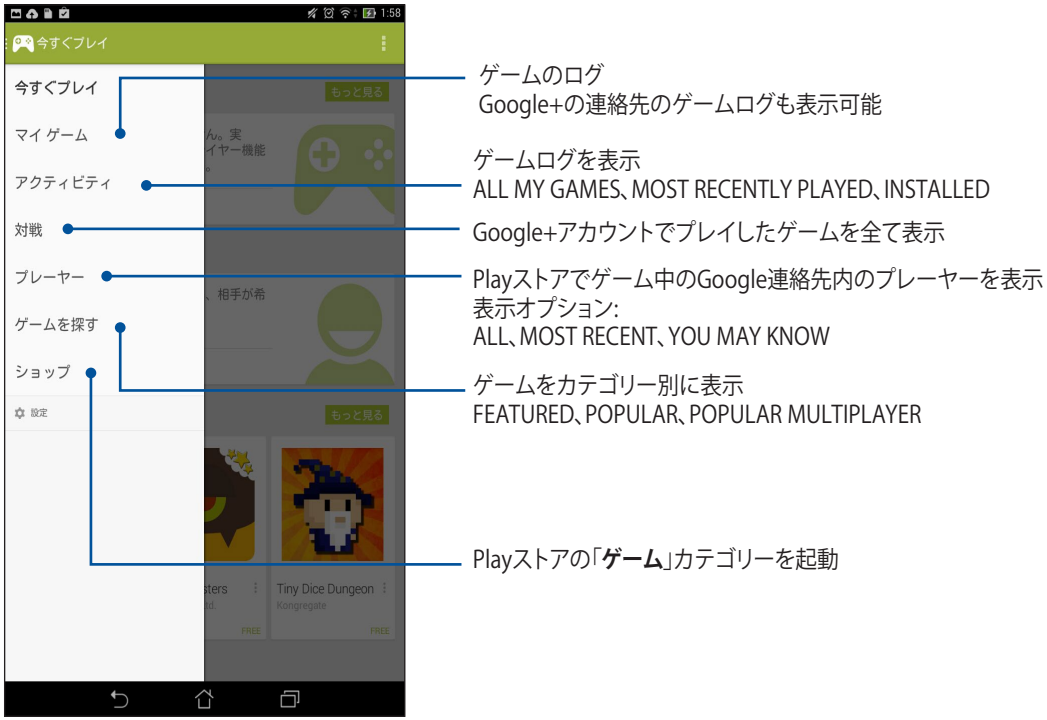
最新のオンラインゲームを取得し、ソーシャルメディアのアカウントで共有することができます。また、マルチプレイヤーゲームに参加し、ゲームのテクニックを競うこともできます。

重要: Play ゲームの機能を最大限に活用するため、Googleアカウントでログインしてください。

Play ゲームの使用

手順

1. ホーム画面から →「**Play ゲーム**」の順にタップします。
2. オプションを選択します。



音楽

本機で音楽ファイルを再生することができます。本機内に保存したファイルだけでなく、外付けストレージ内のファイルも再生することができます。

Musicの起動

ホーム画面から →「**音楽**」の順にタップします。

音楽の再生

デフォルト設定では、本機の内部ストレージに保存された音楽ファイルを全て再生します。タップすれば再生が始まります。

SDカードからの音楽再生

手順

1. SDカードをしっかり本機に挿入してください。

   注: SDカードの挿入方法については、「micro SDカードの挿入」をご参照ください。

2. Musicのホーム画面から をタップします。

3. 「**My Device**」から「**音楽**」をタップしSDカード内の音楽ファイルを参照します。

クラウド上の音楽の再生

重要: クラウドストレージのファイルを表示するには、Wi-Fi接続が必要です。

本機では、次のクラウドに保存された音楽ファイルを再生することができます。

- ASUS Webstorage
- Dropbox
- OneDrive
- Drive

クラウドストレージのアカウントの追加

クラウドストレージに保存された音楽ファイルを再生する

1. Musicのホーム画面から をタップします。
2. 「**サービスの表示/非表示**」で「**クラウドサービスの追加**」を選択します。
3. クラウドストレージを選択し、そのクラウドに保存された音楽ファイルを再生します。
4. 画面の指示に従い、クラウドストレージにサインインします。

クラウドストレージからの音楽再生

1. Musicを起動し、 をタップします。
2. 「**サービスの表示/非表示**」でクラウドストレージを選択し、そのクラウドに保存された音楽ファイルを再生します。

音声レコーダ

音声レコーダアプリを使用すれば、本機でオーディオファイルを録音することができます。

音声レコーダの起動

ホーム画面から→「**音声レコーダ**」の順にタップして起動します。

音声レコーダのホーム画面

CHAPTER 11

Zenのお手入れ

本機を最新状態に保つ

本機のアプリや機能を最新の状態に保つことで、本機を常に快適にご使用いただけます。

システム更新

手順

1. ホーム画面から →「**設定**」の順にタップします。
2. 設定画面を下方向にスライドしてその他の機能を表示し、「**タブレット情報等**」をタップします。
3. 「**システム更新**」の順にタップします。

注:「**システム更新**」ウィンドウの「**最終更新日時**」では、最後にシステム更新をした時間を確認することができます。

ストレージ

本機の内部ストレージ、外付けストレージ、オンラインストレージにデータやアプリ、ファイルを保存することができます。オンラインストレージを使用する際は、インターネット接続が必要です。付属のUSBケーブルを使用し、コンピューターと本機とでデータの転送が可能です。

バックアップとリセット

本機を使用し、データやWi-Fiのパスワード、その他設定をGoogleサーバーにバックアップすることができます。

1. ホーム画面から →「**設定**」→「**バックアップとリセット**」の順にタップします。

2. 次の作業を実行することができます。

   - **データのバックアップ:**
     データやWi-Fiのパスワード、その他の設定をGoogleサーバーにバックアップします。

   - **バックアップアカウント:**
     バックアップ用のアカウントを指定します。バックアップを保存するときに使用します。

   - **自動復元:**
     アプリを再インストールしたときに、バックアップした設定とデータを復元します。

   - **データの初期化:**
     本機内のデータを全て削除し、工場出荷時の設定に戻します。

セキュリティ

本機に搭載のセキュリティ機能で、本機への不正なアクセスや着信通話を防ぐことができます。

スクリーンのロック解除

ロックされたスクリーンをロック解除する方法を選択することができます。

手順

1. ホーム画面から → 「**設定**」→「**ロックスクリーン**」の順にタップします。
2. 「**画面のロック**」をタップし、ロック解除の方法をオプションから選択します。

注:

- 詳細は「ロック解除のオプション」をご参照ください。
- 選択したオプションを解除するには、「**なし**」を選択します。

ロック解除のオプション

本機のロックスクリーンのロック解除の方法をオプションから選択します。

- **スライド:** 画面上をスライドしてロック解除します。

- **フェイスアンロック:** ロックスクリーンの黒いウィンドウにあなたの顔を表示し、ロック解除します。

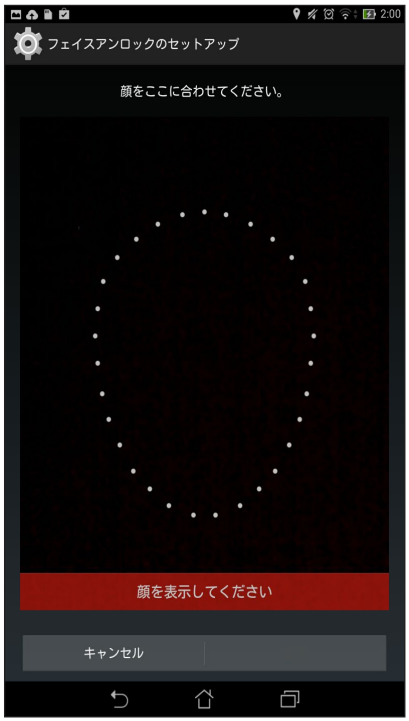
重要:

- 「フェイスアンロック」の安全性はパターン、PIN、パスワードより低くなります。
- 顔が似ている第三者がロック解除してしまう恐れがあります。
- 顔認証に使用する顔データは本機に保存されます。

フェイスアンロックのセットアップ

1. 「**画面ロックを選択**」画面で「**フェイスアンロック**」をタップします。
2. 「**フェイスアンロックについて**」を読み、「**セットアップ**」をタップします。
3. セットアップの説明を読み「**続行**」をタップします。
4. 本機を目の高さに合わせ、顔が画面に収まるように位置を調整し、撮影します。

注: 緑の点線の枠は、顔を認識し画像を撮影していることを示します。



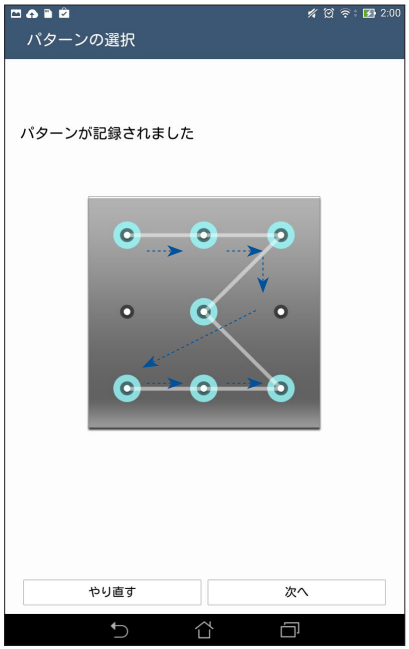
5. 撮影が終わったら、「**続行**」をタップします。

6. 顔が正しく認識されない場合は、別の解除オプションを推奨するメッセージが表示されます。パターンは指で画面上の複数の点をなぞってパターンを作成します。PINは数字でPINを作成します。

重要: ロック解除用のPINとパターンは忘れないようにしてください。

7. セットアップが終了したら「**OK**」をタップします。

- **パターン:** 指で線をなぞり、パターンを作成します。

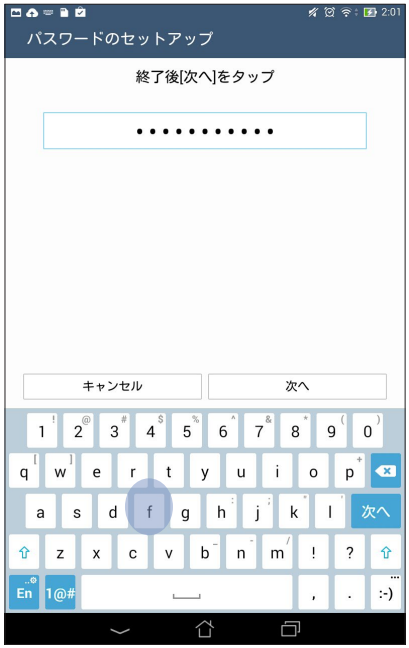


重要: 点は最低4つ以上使用し、パターンを作成してください。ロック解除用のパターンは忘れないようにしてください。

- **PIN:** 4つ以上の数字でPINを作成します。

重要: ロック解除用のPINは忘れないようにしてください。

- **パスワード:** 最低4文字でパスワードを作成します。



重要: ロック解除用のパスワードは忘れないようにしてください。

その他のセキュリティ機能

画面のロックの他にも、次のような機能を利用することができます。

- **クイックアクセス:**
  クイックアクセスのスイッチを「**ON**」にすると、ロックスクリーンでアプリを起動することができます。

- **「What's Next」ウィジェット:**
  「What's Next」ウィジェットのスイッチを「**ON**」にすると、ロックスクリーンでこのウィジェットを起動することができます。

- **インスタントカメラ:**
  本機がスリープ状態のときに音量ボタンを2回押すと、すばやくカメラアプリを起動することができます。

- **所有者情報:**
  タップすると、ロックスクリーンで表示させたい情報を入力・編集することができます。

CHAPTER 12

Wi-Fi/Bluetooth等への接続

Wi-Fi

本機に搭載のWi-Fi 技術により、無線接続をご利用いただけます。無線環境で ソーシャルメディアのアカウントの更新、インターネットサーフィン、データやメッセージのやり取りが可能です。

Wi-Fiを有効にする

手順

1. ホーム画面で をタップし、「**設定**」をタップします。
2. Wi-Fi スイッチを右方向にスライドし、Wi-Fiをオンにします。

> **注:** クイック設定画面でもWi-Fi をオンにすることができます。詳細は「クイック設定」をご参照ください。

Wi-Fi ネットワークへの接続

手順

1. 設定画面で「**Wi-Fi**」をタップすると、検出されたWi-Fi ネットワークが表示されます。
2. ネットワークをタップして選択し接続します。セキュリティにより保護されている場合、パスワードまたはキーの入力が必要となります。

> **注:**
> - 本機は接続したことのあるネットワークを検出すると、自動的に再接続します。
> - バッテリーの電力消費を抑えるため、使用しないときはWi-Fi 接続をオフにすることをお勧めします。

Wi-Fi の無効化

手順

1. ホーム画面で をタップし、「**設定**」をタップします。
2. Wi-Fi スイッチを左方向にスライドし、Wi-Fi をオフにします。

> **注:** クイック設定画面でもWi-Fi をオフにすることができます。詳細は「クイック設定」をご参照ください。

Bluetooth

本機に搭載のBluetooth機能で、他のBluetooth対応デバイスとの間で近距離間でのファイルの送受信やマルチメディアファイルのストリーミング等のデータ通信が可能です。Bluetoothではメディアファイルの共有、データのやり取り、Bluetoohプリンターの使用、Bluetoothスピーカーでの音楽ファイルの再生などが可能です。

Bluetoothの有効化

手順

1. ホーム画面で をタップし、「**設定**」をタップします。
2. Bluetoothスイッチを右方向にスライドし、Bluetoothをオンにします。

> **注:** クイック設定画面でもBluetooth をオンにすることができます。詳細は「クイック設定」をご参照ください。

本機とBluetoothデバイスのペアリング

Bluetoothデバイスに初めて接続する際は、本機とのペアリングを実行する必要があります。一度実行したペアリングの設定は自動的に本機に保存されます。

手順

1. 設定画面で「**Bluetooth**」をタップすると、利用可能なデバイスがすべて表示されます。

   重要:

   - ペアリングしたいデバイスが表示されない場合は、そのデバイスのBluetooth機能がオンになっており、検出可能な状態であることを確認します。
   - Bluetooth機能をオンにし検出可能な状態にする方法は、デバイスの取扱説明書をご参照ください。

2. 「**デバイスの検索**」をタップし、Bluetoothデバイスをスキャンします。

3. 利用可能なデバイスのリストからペアリングを行うBluetoothデバイスをタップします。画面上の指示に従ってペアリングを行います。

   注: バッテリーの電力消費を抑えるため、使用しないときはBluetooth接続をオフにすることをお勧めします。

本機とBluetoothデバイスのペアリングの解除

手順

1. 設定画面で、「**Bluetooth**」をタップすると、利用可能なデバイスとペアリング済みのデバイスがすべて表示されます。

2. ペアリング済みのデバイスのリストから、ペアリングを解除したいデバイスの をタップし、「**ペアの解除**」をタップします。

PlayTo

PlayToアプリでは、本機の画像をストリーミング対応のディスプレイに表示することができます。これにより、外付けディスプレイを本機のデュアルモニターとして使用できます。

> **重要:** このアプリを利用するには、外付けディスプレイがMiracast™ またはDLNAに対応している必要があります。

PlayToの起動

PlayToを起動するには、2つの方法があります。

クイック設定から

1. 本機と併用したいストリーミング対応のディスプレイをセットアップします。
2. 本機でクイック設定を起動し、「**PlayTo**」をタップします。
3. ストリーミング対応のディスプレイに表示されたSSIDを参照し、本機と同じSSIDを選択してペアリングを実行します。

接続が確立されると、本機のコンテンツがストリーミング対応ディスプレイに表示されます。

設定から

1. ホーム画面から→「**設定**」をタップします。
2. 「**無線とネットワーク**」で「**その他**」をタップし、「**PlayTo**」をタップします。
3. ストリーミング対応のディスプレイに表示されたSSIDを参照し、本機と同じSSIDを選択してペアリングを実行します。

接続が確立されると、本機のコンテンツがストリーミング対応ディスプレイに表示されます。

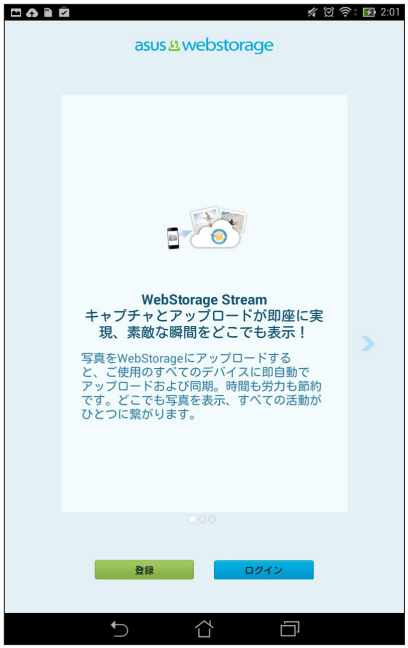
クラウド

ASUS WebStorageやDrive、OneDrive、Dropbox等のクラウドサービスを使用し、複数のデバイス間でのデータのバックアップやファイルの共有と同期が行えます。

ASUS WebStorage

ASUS WebStorageに登録すれば、最大5GBのクラウドフリースペースを利用することができます。画像のアップロード/共有、複数のデバイス間でのファイルの共有、本機との間でのファイルの共有などに、ぜひご活用ください。

注: 自動アップロード機能を利用する場合は、ASUS WebStorageの「**設定**」→「**Instant Upload**」→で「**Instant Upload**」を有効にしてください。



CHAPTER 13

アプリ

アプリの切り替え

複数のアプリを使用している状態でも、簡単にアプリを切り替えることができます。

をタップすると、最近起動したアプリが表示されます。

- アプリを参照するには、アプリをタップします。
- アプリを削除するには、アプリを左または右になぞります。

アプリのロック

アプリに4～12桁のパスワードを設定し、他の人が開けないように設定することができます。

手順

1. 「**すべてのアプリ**」→ ⋮ →「**アプリをロック**」の順にタップします。

3. 4～12桁でパスワードを作成し、「**OK**」をタップします。

パスワードを変更する

1. 「**すべてのアプリ**」→ ⋮ →「**App Lockの設定**」の順にタップします。メッセージが表示されたら、パスワードを入力します。

2. 「**パスワードの変更**」をタップし、古いパスワードと新しいパスワードを入力します。

アプリのダウンロード

Playストアから本機にアプリやゲームをダウンロードすることができます。アプリやゲームの中には有料のものもあります。

手順

1. ホーム画面で「**Playストア**」をタップします。
2. 画面の指示に従い、Gmailアカウントにサインインします。アカウント未作成の場合は作成してください。
3. サインイン後は、Playストアからアプリをダウンロードし本機に追加することができます。

CHAPTER 14

その他の便利な機能

省電力設定

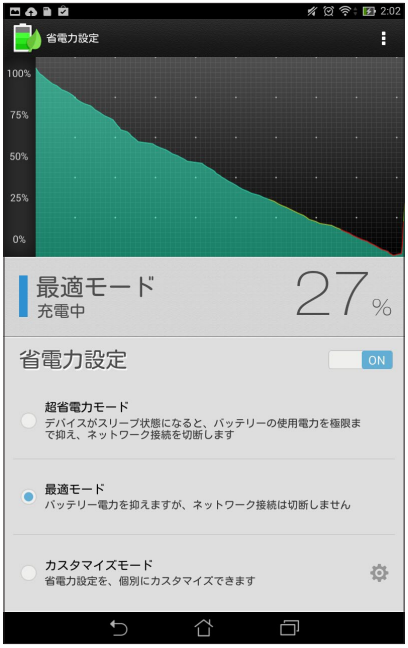
本機がアイドリング状態、ネットワークに接続中の状態でも、バッテリーの電力を効果的に使用することで、バッテリー残量を長持ちさせます。メールの参照や動画の再生など、よく使用する用途に対応したカスタマイズ設定が可能です。

省電力設定のセットアップ

電力の最大化/最適化/カスタマイズを行い、使用電力を最大限に抑えることができます。

手順

1. ホーム画面から「**全てのアプリ**」→「**省電力設定**」の順にタップします。
2. 省電力設定のスイッチを「**ON**」にします。



3. モードの選択

- **超省電力モード:** 本機がアイドリング状態のとき、ネットワーク接続を切断します。
- **最適モード:** ネットワーク接続を維持したまま、使用電力を最大限に抑えます。
- **カスタマイズモード:** よく使用する各用途別に電力設定を行います。

省電力設定のカスタマイズ

メールの参照やインターネットサーフィン、音楽の再生など、よく使用する用途に合わせ、画面の明るさを調整することができます。また、特定のアプリに対して電力設定を行う、本機がスリープ状態のときにネットワーク接続を切断する、といった設定も可能です。

手順

1. 「**省電力設定**」で「**カスタマイズモード**」を選択し、 をタップします。
2. アクティビティを選択し、明るさを%で設定します。

ASUS Splendid

ASUS Splendidではディスプレイの設定を簡単に行うことができます。

手順

1. ホーム画面から ⁘ →「**ASUS Splendid**」の順にタップします。
2. 画面の色温度、コントラストを調整します。
3. 「**完了**」をタップし、設定を保存します。

付録15

ご注意

Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

•This device may not cause harmful interference.

•This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment causes harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by doing one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user‘s authority to operate the equipment.

The antenna(s) used for this transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

RF Exposure Information (SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels.

The highest SAR value for the device as reported to the FCC is 1.15 W/kg when placed next to the body.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID: MSQK013.

Canada, Industry Canada (IC) Notices

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003, RSS-210, and CAN ICES-3(B)/NMB-3(B).

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. The IC ID for this device is 3568A-K013.

Radio Frequency (RF) Exposure Information

The radiated output power of the Wireless Device is below the Industry Canada (IC) radio frequency exposure limits. The Wireless Device should be used in such a manner such that the potential for human contact during normal operation is minimized.

This device has been evaluated for and shown compliant with the IC Specific Absorption Rate ("SAR") limits when installed in specific host products operated in portable exposure conditions.

Canada's REL (Radio Equipment List) can be found at the following web address:

http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

Additional Canadian information on RF exposure also can be found at the following web address:

http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html

Canada, avis d'Industrie Canada (IC)

Cet appareil numérique de classe B est conforme aux normes canadiennes ICES-003, RSS-210 et CAN ICES-3(B)/NMB-3(B).

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes: (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférence et (2) cet appareil doit accepter toute interférence, notamment les interférences qui peuvent affecter son fonctionnement.

L'identifiant IC de cet appareil est 3568A-K013.

Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par cet appareil sans fil est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d'Industrie Canada (IC). Utilisez l'appareil sans fil de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

Ce périphérique a été évalué et démontré conforme aux limites SAR (Specific Absorption Rate – Taux d'absorption spécifique) d'IC lorsqu'il est installé dans des produits hôtes particuliers qui fonctionnent dans des conditions d'exposition à des appareils portables.

Ce périphérique est homologué pour l'utilisation au Canada. Pour consulter l'entrée correspondant à l'appareil dans la liste d'équipement radio (REL - Radio Equipment List) d'Industrie Canada rendez-vous sur:

http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

Pour des informations supplémentaires concernant l'exposition aux RF au Canada rendez-vous sur :

http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html

Federal Communication Commission (FCC) Radiation Exposure Statement

This EUT is compliant with SAR for general population/uncontrolled exposure limits in ANSI/IEEE C95.1-1999 and had been tested in accordance with the measurement methods and procedures specified in OET Bulletin 65 Supplement C. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 1.5 cm between the radiator and your body.

EC Declaration of Conformity

This product is compliant with the regulations of the R&TTE Directive 1999/5/EC. The Declaration of Conformity can be downloaded from http://support.asus.com.

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなることがあります。ご注意ください。

À pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'oreille de l'utilisateur.

For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirement laid down in the applicable EN50332-1:2000 and/or EN50332-2:2003 standard required by French Article L.5232-1.

CE Mark Warning

CE

CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

The highest CE SAR value for the device is 0.377 W/Kg.

This equipment may be operated in:

AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

DFS controls related to radar detection shall not be accessible to the user.

Rechargeable Battery Recycling Service in North America

For US and Canada customers, you can call 1-800-822-8837 (toll-free) for recycling information of your ASUS products' rechargeable batteries.

IC Warning Statement

The device could automatically discontinue transmission in case of absence of information to transmit, or operational failure. Note that this is not intended to prohibit transmission of control or signaling information or the use of repetitive codes where required by the technology.

The Country Code Selection feature is disabled for products marketed in the US/Canada. For product available in the USA/Canada markets, only channel 1-11 can be operated. Selection of other channels is not possible.

IC Radiation Exposure Statement

This EUT is compliant with SAR for general population/uncontrolled exposure limits in IC RSS-102 and had been tested in accordance with the measurement methods and procedures specified in IEEE 1528. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 1.5 cm between the radiator and your body.

RF Exposure information (SAR) - CE

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/Kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For next-to-body operation, this device has been tested and meets the ICNRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 50566. SAR is measured with the device directly contacted to the body while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm^2 or H05VV-F, 2G, 0.75mm^2.

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁処理が施されている筐体を使用しています（入出力ポート搭載部分を除く）。

グリーンASUS

ASUSは環境に優しい製品・パッケージ作りに取り組んでおり、環境に及ぼす影響を最小限に抑えると同時に、消費者の安全と健康への配慮を行っております。二酸化炭素の排出量削減のため、ユーザーマニュアルのページ数を削減しました。

ユーザーマニュアル完全版および関連情報は、本機に収録のユーザーマニュアル、またはASUSのサポートサイトをご参照ください。
http://support.asus.com/ (英語)
http://www.asus.co.jp (日本語)

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008（J-Moss）の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト（http://csr.asus.com）に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」をご参照ください。

モデル名: K013 (ME176C/ME176CX)

Manufacturer:	ASUSTeK Computer Inc.
Address:	4F, No.150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorised represe ntative in Europe:	ASUS Computer GmbH
Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY

Copyrightについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、すべての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害 (利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む) に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに 変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2014 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害(死亡したケースを含む) と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

以下のリンクから、ASUSのサポートサイトへアクセスすることができます。
http://www.asus.com/jp/support/

EC Declaration of Conformity

We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address, City:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	**ASUS Tablet**
Model name :	**K013**

conform with the essential requirements of the following directives:

☒**2004/108/EC-EMC Directive**

☒ EN 55022:2010+AC:2011	☒ EN 55024:2010
☒ EN 61000-3-2:2006+A2:2009	☒ EN 61000-3-3:2008
☐ EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	☐ EN 55020:2007+A11:2011

☒**1999/5/EC-R &TTE Directive**

☒ EN 300 328 V1.8.1	☒ EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
☒ EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	☒ EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
☒ EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	☐ EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
☐ EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	☐ EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
☐ EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	☐ EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
☐ EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	☒ EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
☐ EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	☐ EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
☐ EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
☐ EN 302 623 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
☐ EN 50360:2001	☐ EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
☒ EN 62479:2010	☐ EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
☐ EN 50385:2002	☐ EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
☒ EN 62209-1:2010	
☒ EN 50566:2013	
☒ EN 62311:2008	

☒**2006/95/EC-LVD Directive**

☒ EN 60950-1 / A12:2011	☐ EN 60065:2002 / A12:2011

☒**2009/125/EC-ErP Directive**

☐ Regulation (EC) No. 1275/2008	☒ Regulation (EC) No. 278/2009
☐ Regulation (EC) No. 642/2009	☐ Regulation (EC) No. 617/2013

☒**2011/65/EU-RoHS Directive** Ver. 130816

☒**CE marking**

CE (EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Declaration Date: 02/04/2014